

日野でおしゃれな "Me" をつくる
meet mate moment...

J HOME

子育て居場所号

J jissen・女子
H hino
O oshare (オシャレ)
M me (私)
E experience (経験)

日野でおしゃれな "Me" をつくる
meet mate moment...

「地域で子育て」を日野で実現！ ～まちの居場所で子育てを豊かに～

子育てが孤独だと感じたことはありませんか？日野には、そんな子育て世代の皆さんを支える「居場所」が身近に存在します。子育てをしている人も支える人も、居心地の良い場所で“自分らしく”過ごしませんか。



豆知識 SDGs 知っていますか？
SDGs とは…2015年に国連が採択した「持続可能な開発目標」のこと、地球が抱えた問題を解決するための、2030年までの世界共通目標です。

SDGsを達成するのはわたしたち一人ひとりの意識です。身近な暮らしの中にある、あらゆる多様性の在り方や社会問題を自分ごと化して、この先の子供たちが生きる未来のまちを守っていきましょう！



<多摩平の森ふれあい館 2階> NPO 法人市民サポートセンター日野って？



NPO法人
市民サポートセンター日野
理事
土屋和子さん

Q1. NPO法人市民サポートセンター日野はどんなところですか？
30年程前から、日野で相互援助活動を推進しています。子育てをするママさんの支援をはじめ、「日野菜」をキーワードに、キッチンカフェなどを通して交流を深め、若いママたちの社会参加を応援しています！また、新しい取り組みとして日野菜しんぶん紙エコバッグプロジェクトという活動を行っており、より多くの人がSDGsを知るきっかけになればと考えています。

Q2. 今、子育てをする環境に求められていることは何ですか？
子どもを遊ばせるだけの場所ではなく、ママたちが自らの意思で主体的に参加できる機会や場が身近にもっとたくさんあること。それに伴って、地域の人がボランティア感覚で子どもを預かってくれるような環境が増えればいいと思います。

Q3. 日野の魅力は何ですか？
あたたかい人柄の方がとても多いこと。お互いさまという精神で純粋に助け合えることができる市民性が魅力です。

子育てに奮闘するあなたへメッセージ
同じ世代の友達と集まるのも有効ですが、たまには違う世代が集まる場に出て仲間を見つけるのも楽しいです！一人で違う環境に出る勇気を持つことが第一歩だと思います。チャレンジしてみたいけど一人じゃちょっと…そんな方はぜひ気軽にわたしたちに話しかけてください。わからないことや困っていること、なんでもサポートします！



Q1. ファミリーサポートセンターはどんなところですか？
助けたい人と手伝ってほしい人を引き合わせる、市民同士の相互援助のお手伝いをしています。「困ったときはお互いさま」を合言葉に、市民の会員の方がお互いに空いている時間を使って有償ボランティアとして活動しています。

Q2. 今、子育てをする環境に求められていることは何ですか？
地域全体で、「隣の人でも知らない人」という状況を無くすこと。孤立化してしまう人が多い現代では、老若男女で多世代交流をして、普段から身近にコミュニケーションが取れたり頼れたりする人が必要だと思います。「一人じゃない」と自然に感じられる環境を作ってあげたいです。

子育てに奮闘するあなたへメッセージ
一歩外に出ると、そこには様々な新しい世界が広がっています！最初はドキドキするかもしれませんが、実際に何かに参加するとみなさんウェルカムな人が多いのですぐに仲良くなれます。最初一人で参加した日野菜ママのみなさんも今では、楽しく生き生きと活動しています。何事も興味を持ったなら遠慮なく声をかけてください。お手伝いします！



このリーフレットの情報は、J-HOME編集者の地域活動に基づいています。子どもの多いことが特徴の、日野市の活気ある豊かなまちの様子に注目して制作しました。みなさんもこれをきっかけに、日野にある居場所のあたたかさを改めて感じてみてはいかがでしょうか。

J HOME とは？

地域と大学をつないで、日野キャンパスライフの充実を提案する学生ライフスタイルマガジンです。「多摩の学生まちづくりコンペティション2016」奨励賞受賞。

発行：実践女子大学生生活科学部現代生活学科
地域・生活文化研究室（須賀ゼミ）

協力：日野市企画部
問い合わせ：gensei@jissen.ac.jp

※このリーフレットの情報は、2021年2月現在のものです。

